

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院総合内科に入院歴のある患者さんおよびご家族の方へ

社会医療法人愛仁会高槻病院看護科 7 階南病棟では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会で承認され、院長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

総合診療科における多職種退院調整に対する特徴分析

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院 7 階南病棟看護科 上田瑞希

3. 研究の目的と意義

当該病棟の退院先が療養病院や施設であることがほとんどであり、自宅に退院される場合でも訪問診療や訪問看護などの退院調整を行うことが多い。そのため、当部署では、全患者に対して入院当日より退院支援看護師、MSW、病棟看護師、医師、理学療法士、栄養士、薬剤師と連携し、退院支援が必要か検討し早期からの退院調整を実施している。しかし、治療が終了し退院が可能な状態となっても、退院先が決まっていない患者が一定数入院されている状態である。そのため、退院調整に難渋している患者の要因を明らかにすることで、当部署における多職種での退院調整の現状を明らかにし、高齢患者の退院を速やかに対応できような多職種連携やシステム作りに寄与する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当部署の総合診療科に入院中の患者のうち、急性期治療が終了したにもかかわらず退院の目途が立っていない患者

(2) 研究期間

院長による研究実施許可日～2026 年 1 月 24 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者基本情報、退院調整に関する情報です。

(5) 方法

患者の退院調整に難渋する要因を、多職種カンファレンスで記録している「退院支援情報登録」を基に、キーワード使って抽出する。キーワードをカテゴリーに分類し分析する。

5. 試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんおよびご家族（代理人）の方には、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 試料・情報の二次利用について

二次利用しません。

9. 資金源及び利益相反等について

資金源及び開示すべき利益相反はありません。

10. 問い合わせ先

社会医療法人愛仁会高槻病院 7 階南病棟看護科

担当者：上田瑞希

住所：大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

TEL：072-681-3801 FAX：072-682-3834

E-mail：ueda.mizuki@aijinkia-group.com